

国際ロータリー 第2780地区

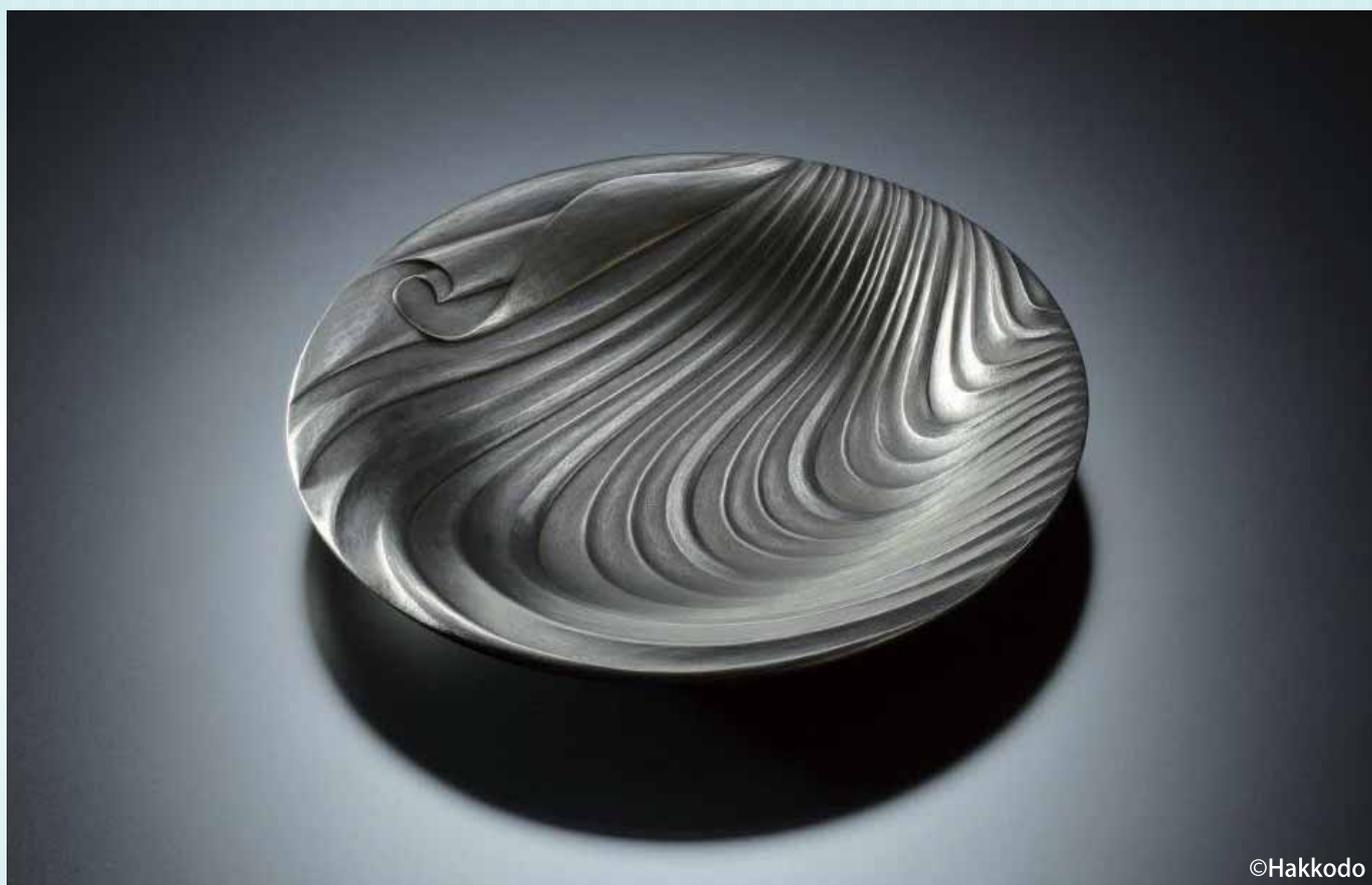
ガバナー一月信

2021年最終号 No.13

2020-2021年度ガバナー 久保田 英男



ロータリーは機会の扉を開く



©Hakkodo

鉢 衣紋 藤原時代の仏像に見られる翻波式の衣紋をモチーフにした大ぶりの鉢です。ふっくらとした肉取りとえぐったようなマイナスの彫りとの繰り返しのリズムや、流れるような衣の曲線、そして器の形状とが相まって美しさを醸し出します。錫を用いてメタリックに仕上げました。



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2	インド緊急支援プロジェクトの報告	19
一年を振り返って	4	公式訪問の記録	20
第一回米山学友同窓会を開催して	16	新クラブ紹介	21
米山功労者一覧	17	イノベーションゲートウェイ湘南/相模原西令和大野ロータリー衛星クラブ	
R財団寄付者一覧	18	新会員・訃報	22

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2780 2020-2021

クラブ会長・幹事の皆様、そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2020～21年度ガバナー

久保田 英男

(鎌倉RC)

岬の向こうへ

江ノ島から国道134号線を鎌倉に向うとすぐに、腰越海水浴場の先に小さく海に突き出た岬、小動岬が見えてきます。読み方、ご存知ですか？「こゆるぎみさき」と読みます。さて、名の由来は…子供の頃、誰かに聞いた「義経一行が鎌倉入りを拒まれ弁慶が地団駄を踏んでこの岬が揺れたから小さく動く」と書いて「こゆるぎ」という地名になった」という話を信じていました…はっきり言って…嘘です。この小動岬の近くには、真言宗のお寺、満福寺があります。そう、有名な『腰越状』の舞台となった場所であることは事実です。地名の方は「風もないのに揺れる美しい松が岬の頂きにあった」ことからその名がついたそうです。この岬の手前には源平合戦の際、佐佐木盛綱が勧進したといわれる小動神社が鎮座し、のちに新田義貞が鎌倉攻めの必勝祈願をした宮でもあり、その来歴にも松の由縁が出てきたと記憶しています。そもそも鎌倉殿頼朝の地、義経寄りの地名が残るはずありません。ただ何れにせよ、ここで歴史が何度も動いたことは事実なのです。腰越小動で足止めされた義経は何を思っていたのでしょうか。必死に辿り着いたゴールへの入口、あと一歩のところでも何も語れず聞くこともできず、岬の向こうには新幕府が見えるのに。

2020～21年度の始まる前、2020年2月、まさに

新年度がすぐそこにあるのに、突如COVID-19コロナに前を立ち塞がれて進めなくなってしまいました。まさに小動の手前で止められた義経の様に。2017年12月に指名を頂き、GNTS～GETS～国際協議会と2年半に渡り研修を受け、その間2020～21年度スタッフのみんなと打ち合わせや準備を重ねたにも関わらず、PETSも地区研修・協議会も中止に、青少年交換の学生も早々の引き上げと翌年度の中止、各事業の方針変更の決断などなど。1か月もすれば、春になれば、夏には…と期待するも一向に進めないまま時間は過ぎていきます。茫然自失とした中、ふと冷静に周りを見渡せば、まだ見たことのない選択肢が落ちていたのです。その選択肢、いや選択糸は、見逃してしまうほどに細く、乱暴に引けば切れてしまう繊細な絹糸のような糸です。それを慎重に手繰り寄せてみると…。

糸の先に目標がありました。前例や諸先輩が築いてきた道をそのまま進むのではなく、自らその道順を決め、そこへ向かう方法を見つけなくてはなりませんでしたが、先が見えると不思議とそれまで気がつかなかった周囲も見えてきます。そこには同じように何とか目標に向かおう、頑張ろうという仲間が大勢いるのです。

対面で集まれない中、オンラインでPETS、地区研修・協議会をオンラインに決めたものの、ITリテラシーもバラバラなロータリアンへ直接説明もできず、実施できるのか悩んでいると「私が

手伝いましょう」とIT系を本業とするAGがポータルサイトを組み立ててくれました。ZOOMの使い方やMy ROTARYの登録はできるだろうかと心配すると「手分けして教えます」と他のAGと地区幹事が。ガバナー事務局はテレワークの中、ほぼ24時間メールでの対応で可能な限りクラブ対応し、ほぼリアルタイムで情報を共有してくれました。次第に多くの人が集まり、様々な失敗を繰り返しながら、徐々に形を成してきました。全く違う環境の中、できることを精一杯考え、余力を残すことなく努力する、愚直なまでひたすら誰一人手を抜くことなく。「最低限の目的は達成しよう」と思って始めたのに、気が付けば「あれもできた」「こんな成果があった」と驚くことばかり。PETSでは66人会長とZOOMで話し合ったことで、公式訪問などで直接会えた時の感動はこうした苦労をお互いが分かち合っていた証明のようなものでした。「できない理由を探すより、どうしたらできるかを考えよう」と青少年奉仕委員長時代、若者に繰り返し話してきたことが、自らを戒めてくれました。見えないところで、みんなが協力してできた一年だったのだと、しみじみ思います。

評価は様々でしょうが「できない」とあきらめるのは簡単でしたが、塗り絵ではなく、真っ白な紙に下手くそかもしれませんが、自分たちで描けたことに誇りを感じています。あの少人数、短時間の地区大会、お手元にDVDが届いていると思います。その1枚のDVDの裏にはその何十枚分もの努力が詰まっています。同じようにこの制約された一年においても、各クラブ・地区の活動に様々なアイデアを駆使し頑張ってくれました。結果以上に、そのプロセスの厚みが満足感を生んでいるのかもしれませんが。振り返ることなく、懸命にみんなで前へ前へとこの一年進んできたこと、それを一年継続して努力できた、第2780地区は最高の地区です。66クラブは尊敬できるクラブばかりです。

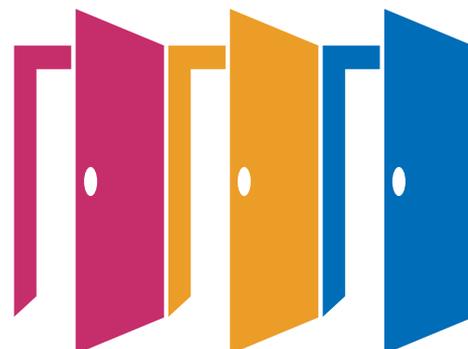
いま年度を終わり、立ち止まったところから初めて振り返ってみました。越えられないと思った岬は、背後遙か向こうに。そう、私たちはコロナを乗り越えられたのです。

扉を開く

年度はじめ「Together～もっと自由に」と掲げたことが皮肉にも正反対だったかもしれない、と思っていましたが、皆さんの努力でそれを克服してくれ、実現してくれたのだと感激しています。感染予防の下、集まることが出来ない、それまでの既成概念では活動できない環境の中でも、やはり人の力を結集でき、自由な発想で困難を乗り越えたのです。メッセージと結果が一致するように、岬を越え、絹糸を切らぬよう手繰り寄せて辿り着いた先にあったものは、真新しい『扉』でした。ホルガー・クナークRI会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」とはこのことだったのかもしれませんが。私たちは、扉は開かれているものだと思っていましたが、実はまず扉まで到達し、そして、それを私たちの手で開けなくてはならなかったのです。私たちは、長い道のりを経て、大きな『扉』を開こうとしています。

年度の終わりは一つの区切りに過ぎません。さあこの扉を開き、ここからはじめましょう。この一年の苦労を忘れず、誇りと勇気を得た今、自由に多くの仲間とともに新しいロータリーの時代と一緒に作り上げましょう。どうぞ、これからもロータリーを自由に楽しみ、仲間と過ごす時間を大切にしてください。

2020～21年度のクラブ会長・幹事、そして全てのロータリアン・ローターアクターの皆さん、地区委員会、地区役員、財団学友、ROTEX、米山学友、インターアクトクラブ、インターアクト学友会の皆さん、そして、見えない所で支えて下さったガバナー事務所・クラブ事務局の皆さん、全てのロータリーファミリーの皆さん、一年間ありがとうございました。



Rotary Opens Opportunities

一年を振り返って

第1グループ・ガバナー補佐

田邊 一三 (横須賀RC)

『感謝の1年を振り返って』

コロナ禍で始まりコロナ禍で終わった1年でした。

一昨年の夏にガバナー補佐の委嘱をいただいたときは、横須賀RCの会長職がスタートしたところで、無我夢中のなかでした。補佐の研修が始まり、これからと言う時、新型コロナウイルスが蔓延し始め、世界各国が大騒ぎになりました。PETSをズームで開催、初めて行うことで戸惑いの中、いよいよ補佐としての本番が始まりました。

ガバナー補佐訪問、つづいてのガバナー公式訪問が5クラブ無事に行えてほっと致しましたが、その後は、例会も思うにまかせず各クラブの周年行事や地区での行事も悉く中止となりました。2月19日(金)に予定しておりました第1グループのIMも、何とか実施できる方法はないかと最後まで議論を重ねましたが、ガバナーの苦渋の決断のもと中止いたしました。

第1グループの三役会は、各クラブの会長・副会長・幹事の皆様のご理解とご協力のもと計13回開催することが出来ました。又、各クラブの会員の皆様はガバナー補佐訪問・ガバナー公式訪問等、大変暖かく迎えていただき感謝申し上げます。縁の下で支えていただきました各クラブの事務局の皆様にも衷心より感謝申し上げます。

今年は、例年より直接お会いする機会が半分以下でした。如何に通常の対面例会が価値のある事であったか、再認識させられました。久保田ガバナー・横山地区幹事・辻ガバナー補佐はじめ各グループのガバナー補佐の皆様には心強いご支援をいただきました。感謝申し上げますとともに、この素晴らしい仲間と、もっともっと対面で交友を深めたかった、これは私の今のいつわらざる気持ちです。ご縁のありました多くのロータリアンの皆様に心から御礼申し上げます。1年間ありがとうございました。



第2グループ・ガバナー補佐

山田 嗣 (鎌倉中央RC)

本来なら、側から見ればそう考えるかもしれませんが、私自身は残念に思いません。

2020年3月のPETS、4月の地区協。世界中の誰もがCOVID-19の影響力を計りかねている時でしたが、座標なき中、できうることを一つずつ最大限に進んでいけたかと思えます。

7月からの新年度になり、今から思えば落ち着いていた時期でしたが、オリンピックに象徴されるように、多くのイベント、活動が延期、中止されました。地区を含め、多くのロータリークラブの活動も思い通りには行えない状況でした。

そのような中でもガバナー訪問を全クラブ行い、形は変わりましたが、地区大会を行うことができたことは誇るべきことと思えます。

一年を振り返ってみて、同期のガバナー補佐の皆様に本当に良くして頂きました。それぞれの得意分野で実力を発揮された結果が大きな力になることを、改めて気付かされました。それを導いて頂いた久保田ガバナー、横山地区幹事、地区の皆様、本当に有難うございました。

最後に第2グループの会長幹事をはじめとする各クラブの皆様。クラブサポートが十分にできたかは心許ないですが、皆様のお陰で楽しく過ごすことができました。ご協力に感謝致します。有難うございました。



第3グループ・ガバナー補佐

市川 洋 (ふじさわ湘南RC)

コロナに始まりコロナに振り回され、いまだ経験したことのない一年でありました。

今までのような対面型の活動が大きく制限される中、グループ内そしてクラブ内で知恵を出し合い、実行できうる最善のロータリー活動を模索した一年でありました。

それでも前半戦に「TOGETHER〜+もっと自由に」のもと、グループ内9クラブに赴き、公式訪問を対面で開催することができました。久保田ガバナーの方針を直にお伝え出来たこと、そして会員の皆様



の生の言葉をお聞きできたことは、これからの時代のロータリー活動につながる成果と思います。そして喜ばしいことは12月にはイノベーションゲイトウェイ湘南ロータリークラブが設立し、新しく25名の仲間を迎えることができました。

毎月開催した会長幹事会では、前年度に続きコロナ禍の中で中止せざるを得なかった「ロータリーウォーク」、第3グループ共同事業の必要性を再考する時間をとり、次年度以降に繋げていくよう協議いたしました。残念なことは藤沢北ロータリークラブが今期をもってクラブを終結することとなりました。55年にわたり地域に多大なる貢献を続けてきた事に敬意を表するとともに、移籍する会員の皆様のごからの活躍をご期待いたします。

第3グループの皆様、そして久保田ガバナー、横山幹事をはじめとする地区役員の皆様、共に悩み活動した9名のAGの皆様、大変お世話になりました。いろいろな意味で記憶に残る貴重な一年となりました。ありがとうございました。

第4グループ・ガバナー補佐

笠間 治一郎 (綾瀬春日RC)

まずは、この一年、多くのロータリアンの皆様にお世話になり、勉強させていただきましたこと、そしてまだまだ未熟者の私がガバナー補佐という重責を全うできたのも皆様のご協力があったことだと思っています。心より感謝申し上げます。



今年度は新型コロナウイルスに翻弄された一年となり、各セミナーの中止や縮小、オンラインでの開催に変更、各クラブにおいてはオンライン例会の実施や休会、奉仕事業の中止や縮小など、従来のロータリー活動ができなかったこと、とても残念に思っています。また、ガバナー補佐として最大のイベントであるIMについても参加者の安全安心を考慮して中止の決断をいたしました。開催に向けて準備を進めて下さったホストクラブには大変申し訳なく思っています。

このような状況下において、各クラブとも知恵を出し、試行錯誤しながら、オンライン例会や時間短縮、規模縮小しての実施など、新しい姿での活動ができたように思います。今後のロータリー活動に少しでも新しい扉が開けたように感じています。このような新しい姿に期待します。

最後にガバナー補佐排出にご協力を賜りました綾瀬春日RCの会員の皆様に感謝申し上げます。そしてこの一年わたり、関わりのあった全ての皆様、一年間ありがとうございました。

第5Aグループ・ガバナー補佐

福山 茂 (相模原グリーンRC)

まさにコロナ禍に振り回された一年でした。初のオンラインでのPETSに始まり、多くのことが未経験の試みで、手探りしながら進んで行くという状況が続きました。その中で多くの事業が縮小、中止を余儀なくされ、久保田ガバナー、各クラブ会長はじめとする各リーダーの方々はさぞかし無念であったことでしょう。大きく縮小した形で開催された地区大会における久保田ガバナーの最後の挨拶の場面が忘れられません。



そんな一年の中、ガバナー公式訪問を5クラブすべて無事に終えられたことは、今思えば奇跡であったと思います。夜を徹して語り合ったクラブあり、ZOOM併用で行ったクラブありと、どの公式訪問もそれぞれ良い思い出となりました。

さて初めの試みであった第5グループのガバナー補佐2人体制ですが、プラスの部分が多く成功したと言えるのではないのでしょうか。

最後に困難な一年の中、第5Aグループ各クラブ会長幹事、そして会員の皆様には、多くのことに初チャレンジしていただきましたが、それを乗り切ったご苦労と熱意に心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

第5Bグループ・ガバナー補佐

田島 敏久 (相模原西RC)

心若きAGとして勉強しつつ補佐の債務を実行しよう。就任時緊張してガバナー補佐連絡会議に臨んだ1年であった。

ガバナー補佐の公式な債務は下記の通りである。

(eラーニング RI)

☆各クラブを定期的に訪問し、クラブの活動、リソース、機会について協議する。

☆クラブが目標を設定・達成し、課題への解決策を



一年を振り返って

見つけ、争いを解決し、会員や債務等の要件を満たせる様に支援する。

- ☆クラブ委員会と地区委員会を繋ぐ。
- ☆成功する為のクラブの能力を見定め。成功に向けてクラブリーダーに助言や指導を行う。
- ☆地区の活動や地区の地区委員会へのクラブの関与を奨励する。
- ☆目標に向けたクラブの進歩をガバナーに随時伝える。
- ☆ロータリーの取組について最新情報を常に把握する。
- ☆各クラブの状況を後任者に伝える。

コロナ渦中、R I 方針に則り、AG 連絡会議も後半ウェブサイトも余儀なくされた。ガバナー補佐訪問、久保田英男ガバナー公式訪問がリアルだったのが救いである。この状況下後任者取住悦子 AG に引き継ぎが不十分となった次第をお詫び申します。今後、心の知能を磨きながらロータリー活動に精進致します。久保田英男ガバナーお世話になりました。諸先輩、会員の皆様今後ともどうぞよろしくお願致します。

第6グループ・ガバナー補佐

辻 彰彦 (大和RC)

『コロナ禍でのロータリー活動』

2020～21年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令され、日常生活では我慢を強いることがたくさんありました。また、経済活動にも多くの支障が出てしまいました。



その中で久保田ガバナーの方針を理解し、ガバナー補佐として、AG 訪問、公式訪問そして地区大会と、例年とは異なる難しい決断の繰り返しでしたが、第6グループは全10クラブ、340名を超える仲間を支えられ任期を全うすることが出来ました。

グループ内の一大行事であるIMは、当初の計画どおりにはいきませんでした。ホストクラブ(大和RC)の一丸となつての推進力で記憶に残るIMを実施して頂きました。IMテーマ「地域との絆で、奉仕の輪を広げる」、地域で活躍する様々な奉仕団体にスポットを当て、ロータリーとの協調関係を築き、今後の奉仕に活かせるIMを実現したい。との思いで進めて頂きました。

文化、芸術、子ども食堂などの取り組み、また、スポーツを通じて勇気と希望を与えて下さる方々など様々です。IMを機にそれぞれの活動に敬意をは

らい、学び、多様性を受け入れるように、今後も継続して頂ければ有難いと禱を繋ぎました。

最後に、しなやかな心で希望を持ち続けることが、コロナ禍をものともしない明るい未来を拓くことになると信じております。素晴らしいガバナー、ガバナー補佐そして第6グループの仲間との信頼関係の上で連帯し、助け合うことで厳しい日々も乗り越えられ、絆の大切さを教えて頂いた一年でもありました。

多大なるご協力を頂きましたみなさまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

第7グループ・ガバナー補佐

小山 輝彦 (伊勢原平成RC)

今年度は一言でいえば「コロナに振り回された一年」でした。

色々な計画が実行できず、多くの事業が変更、中止、延期ということを余儀なくされました。特に第7Gでは当初予定していた1月23日のIMが緊急事態宣言が発令されたため、予定通り実施できず5月9日に延期し実施することになってしまいました。



これに関しては関係した方々には大変なご迷惑をおかけしましたが、コロナ禍の中で一つの成果を残せたのではないかと考えています。

今年度はコロナ禍という時代の大きな変わり目の年度であったと思います。色んなことが実施できない一年でしたが、それを嘆くより、こういう時代の変革期にガバナー補佐という大役を経験できたことは幸運だったとポジティブに考えたいと思います。最後に久保田ガバナーをはじめ、同期AGの皆さんは素晴らしい方ばかりでした。

正直なところもう少し、直接お会いして親睦を深めたい気はしましたが、それはコロナが終息するであろう次年度に持ち越したいと思います。

第8グループ・ガバナー補佐

吉野 龍彦 (平塚湘南RC)

今年はコロナ禍の中、各クラブではどの様なロータリー活動、奉仕活動をするのか。どの様な内容の事業にするのか。ということよりも例会を開催するべきかどうか。会員の方々の健康を守るかどうかを判断せざるを



得ない年度でした。会長幹事をはじめ理事役員の方、会員の皆様はたいへんご苦勞されたことと思います。

私もガバナー補佐としてIMの開催が出来なかったことも含め余りお役に立てなかったこと残念に思います。しかしながら久保田ガバナーの各クラブへの公式訪問が対面式で無事に終わり会員皆様から率直なご意見がお伺いでき温かく迎えて頂いたことに感謝申し上げます。

この様な社会環境の中ロータリアンの交流や情報交換の機会を消したくない思いからオンライン配信、ユーチューブ等を活用して違う形での情報発信を模索して実施しているクラブもありました。今後参考、共有してロータリー活動に役立って頂ければと思います。来年度はコロナ感染が早く収束を向かえ通常の生活、通常のロータリー活動、奉仕活動が行われることを願っています。

第9グループ・ガバナー補佐

露木 清勝 (小田原城北RC)

皆が集まること、「TOGETHER ~+もっと自由に」この久保田ガバナーの地区方針の実現に正面から立ち上がったのは、Covid-19のパンデミックでした。この我々が初めて遭遇する事態にもかかわらず、久保田ガバナー、専門の辻ガバナー補佐をはじめとする皆様方のご努力で、昨年3月のPETS以降、地区の多くの事業や会議がZoomを使ったオンラインで開催されるようになり、ITに不慣れな私もスマートフォン片手に、直接の対面ではありませんでしたが、TOGETHERの一端に参加することが出来ました。新年度が始まると7月・8月に予定された第9グループ各クラブの公式訪問はスムーズに開催することができ、私にとってはTOGETHERを体感する、大変有意義な機会となりましたことをあらためて感謝申し上げます。また、IM中止という苦渋の選択もありましたが、ロータリクラブ次の百年に向けての扉は、やはり『TOGETHER』みんなで手を取り合って行動する…この伝統を守り繋げていく事がロータリクラブの未来を明るくする糸口のように思われます。今年度のガバナー月信の表紙を飾った、800年の伝統を誇る鎌倉彫の輝きのように。



地区幹事

横山 英夫 (鎌倉RC)

今年度中はガバナー補佐をはじめ各委員長、副委員長、委員、ガバナー事務所事務局の皆様には大変お世話になりました。また、実際に私をサポートして頂いた副幹事の皆様にも心より感謝を申し上げます。



久保田ガバナー年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、多くの活動が制限される中、地区チーム研修セミナー・PETS・地区研修・協議会・地区大会など、行うべきか中止にすべきかの判断に苦慮されているガバナーを幾度か拝見いたしました。

私自身が地区幹事として不完全燃焼で反省点もたくさんありますが、冒頭に述べた皆様に助けられ、なんとか職を終えることとなり安堵しております。

最後になりますが、今後の国際ロータリー第2780地区のご発展を祈念いたします。

地区戦略計画委員会

委員長 相澤 光春 (ふじさわ湘南RC)

地区戦略計画委員会は、国際ロータリーのビジョンを踏まえながら地域社会がよい変化を生むための活動目標として、一昨年度地区ビジョンの策定、今年度は地区ビジョン実現を目指す、4つの優先事項と16の行動目標を次のように策定いたしました。



【地区ビジョン】

私たちは、地域社会のニーズをとらえ、地域社会にインパクトをもたらす、多様な人々との出会いとつながりを活かして、良い奉仕を実践するために積極的に行動します。

【優先事項と行動目標】

優先事項と行動目標は地区の課題・地域社会などの課題とニーズを捉えて、具体的な行動目標に繋げ、奉仕活動を通じて、職業や日常生活の中で実践に移すことを推奨されております。

○地域社会の変化とニーズを的確に捉える

行動目標

- ・地域諸団体との連携
- ・クラブの行動に繋がる地域社会の課題、情報を捉える

一年を振り返って

- ・地域社会との情報の受発信
 - ・時代の変化に適応する組織の醸成
 - 地域社会にインパクトをもたらす
行動目標
 - ・ポリオ根絶に向けた横断的な活動の推進
 - ・地域社会に向けた開放的活動の推進
 - ・地区活動の理解促進
 - ・プロジェクト推進のためのクラブ活動状況の情報共有化
 - 多様な人々との出会いとつながり
行動目標
 - ・ローターアクトクラブ及びインターアクトクラブの拡大など、若い人たちへの積極的支援。
 - ・地域で活動するより多くの人たちとのネットワークを築く。
 - ・将来のリーダーの発掘、育成及びリーダーシップの継続
 - ・年齢、キャリアを問わないプロジェクトの推進
 - 積極的に行動します
行動目標
 - ・ロータリー財団への協力と補助金事例の発信
 - ・クラブの積極的行動への促進と支援
 - ・クラブ、グループ、委員会、ガバナー補佐の情報共有化
 - ・安全、安心、環境保護を意識した行動
- 上記のとおり策定することができましたのは、副委員長はじめ、各委員の皆様のご尽力のお陰でございます。委員会の皆様に感謝申し上げ報告といたします。

地区研修委員会

委員長 大谷新一郎 (相模原南RC)

2020～21年度久保田ガバナーのもと地区研修委員会を担当させて頂きました。

研修委員会の大きな3大柱であります「地区チーム研修」「PETS」「地区研修・協議会」はコロナ禍の影響で、全てオンラインでの開催となりました。田島ガバナーエレクトも大変期待しておりました国際協議会もオンラインという異常事態の中で次年度に向けての準備となったわけであり、ガバナーエレクトより直に委員の皆様にお伝えできなかったことは誠に残念であり



ましたが、田島ガバナーエレクトの熱心なロータリアンへの発信は十分に皆様に伝わり、オンラインではありましたが充実した研修であったと思います。オンライン研修では地区ホームページ委員の辻会員には多大なご協力を頂き感謝いたします。

9グループ10名のAGE研修は11月より8回実施し田島年度がAGEの方々とはスクラムを組んで7月よりの新年度を迎えることが出来るよう心掛けさせて頂きました。

研修委員会では、杉岡・宮本・端山3氏の副委員長を中心に各セミナーの役割、各委員会担当など14名の研修委員会の皆様と推進して参りました。

一年間大変お世話になりました。

地区危機管理委員会

委員長代行 中込 仁志 (鎌倉RC)

当委員会の通常運営は、年間4回程度の開催で、時事に即した情報の共有、新しい対応等への周知徹底などが確認されることが主です。

本年度は、大変に残念なことに、委員会招集事案が発生を致しました。

久保田ガバナーの主導の下で、緊急対応チームが招集され、RIとも緊密に情報共有を致し、対応に当たりました。

ガバナーより、各クラブに公式に情報共有がなされておりますので、改めて繰り返しは致しませんが、委員会として緊張した数日間がございました。

この事案処理にあたり、諸事情から委員長代行を務めさせて頂きましたが、本委員会の重要性をつくづく実感致しました。

今後は、ロータリーの青少年活動に参加歴のある青少年、学友会等のOB、OGクラブに在籍する卒業生も含め、保護の対象となること、ロータリー会員間の問題も当委員会に報告されるべきであるというRIの方針を知ると、青少年保護に対応する危機管理委員会だけでは済まされない現状を、痛感致しました。

次年度委員会には、少人数の即応緊急チームの設置と、青少年の保護対象者の拡大認知を引き継がさせて頂きました。

災害等の有事の際には、外部への全ての窓口にな



るであろう当委員会の重要性を再認識致しましたこと、適示即応な対応を可能にすべく、指令系統の明らかな最小人員での緊急対応チーム設置を含むシステムの更なる構築が必要であると感じました。

最後に、急な委員長代行にも関わらず、問題解決に迅速にご対応頂き、ご協力を頂きました全ての方にお礼を申し上げさせて頂き、報告とさせて頂きませ

姉妹地区委員会

委員長 佐野 英之 (秦野RC)

世界各地で猛威を振るっているコロナ禍の下で、委員会一同新たな気持ちで、更なる10年目を目指し、本年度スタートしました当委員会も大我無く無事に終了致します。そして第3662地区との姉妹関係も新たな段階へと入りました。



さて、R I が推奨する国際奉仕の目的が明示されております様に「他国の人々とその文化・習慣・功績・願い・国際意識を培い、国際理解・親善・平和を推進する為に会員が行う行動から成り立つ」の主旨の下に当委員会としては、本年度より両地区の女性会員同士の友情の「絆」を築きつつ、当地区の女性会員の増強を計り、当地区の会員増強に繋げる為に、地区の皆さんに濟州島第3662地区の諸活動を知って頂く様に「ガバナー月信」の活用を行いました。そこには、委員会活動は下より、第3662地区の紹介並びに女性会員の活躍、濟州島の歴史、観光等々の記事を探り入れ皆さんに少しでも興味を抱く様に企画しました。又、当委員会では初めての企画国際Zoom会議を開催する予定でしたが、濟州島のコロナ感染が拡大した為、残念な事に次年度に持ち越されました。又、ガバナー月信に掲載された件に対しての皆さんの反響を知る為にアンケートを採る事が出来なかった事も心残りです。

最後に、第3662地区に於いて、本年5月に地区のみの地区大会を開催出来た事を連絡受けました。次年度では相互の地区大会には参加したいと思っております。

以上本年度の活動に関して皆様の御協力を感謝申し上げます。

地区ホームページ委員会

委員長 小野良太郎 (秦野中RC)



本年度、昨年度から続くコロナ渦のため委員会はずべてZoom形式で開催しました。ボルガー・クナーク会長の「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマに掲げられ、地域社会への扉ともなりうるホームページの重要性は増していると思われま

す。そのような状況の中、本年度2016年リニューアルした当地区ホームページの5年に一度の見直しの年となっており、委員会のメンバーの久保田ガバナーをはじめ、田島ガバナーエレクト、佐藤ガバナーノミニ、田中パストガバナー、横山地区幹事、辻委員、柚木委員と議論を重ねてまいりました。目的として、地区内クラブ等の基盤を広げ、積極的なかわりを促し、奉仕活動を支援すると同時に、ガバナー事務所の作業効率化を目指すものを掲げ、1月より公募、仕様説明会、入札と進めてまいりましたが、原稿執筆時点(6月10日)ではまだ結論が出ておりません。皆様の役に立つホームページをとの思いから委員会一同慎重に協議しており、今後につなげてまいりたいと思っております。委員会のメンバー、他の地区委員会の皆様、ガバナー事務所の皆様と、関わった全ての方に感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

ロータリーの友 地区代表委員

神谷 一博 (湯河原RC)



委員としての、かけがいの無い活動の場を与えて頂きました事、久保田英男ガバナーはじめ地区の方々、各クラブの方々に感謝いたします。

ロータリアンとしての資格維持の為に「ロータリーの友誌の購読」買って読むと言う事がR I から言われております。7月に入りまして各クラブの例会に行かせてもらい卓話が出来ない時は会長の時間を3分間頂戴いたしまして、この素晴らしい「ロータリーの友誌」を改めて見直して下さいとPRしてまいりました。「ロータリーの友誌」は、毎月9万冊強出版されておりまして日本の34地区の委員の方々とロー

一年を振り返って

タリーの事務所の方々の日頃の努力の賜物である事がつくづく実感できた一年でありました。残念ながらコロナの影響で委員での全体会議はZOOMでの会議になりましたが、後日また今回ご縁が有りました各地区の委員の方々と直接お会いしたいと思っております。「ロータリーの友誌」はロータリアンの奉仕活動のエッセンス、結晶が詰まっておりますので諸先輩方の奉仕活動を読み返して頂ければ何時も新たな力が湧いてくると思います。

日々「ロータリーの友誌」に接しまして改めてロータリー活動の良さを身近に感じさせて頂きました一年でした。

地区クラブ管理運営委員会

委員長 大隈 秀仁 (相模原ニューシティRC)

コロナ禍で始まった1年でしたので、クラブの皆様はクラブの管理運営に大変苦労されたと思います。このような中、当委員会はクラブの管理運営に関する支援に取り組んで参りました。まず、クラブの活動状況に関するアンケート実施して、他クラブでは例会をどのようにやっているだろうといった情報を各クラブへフィードバックいたしました。次に、例会を休会するクラブが多い中、リモート例会を開催したくてもリモートに詳しい会員がいなくて開催できないといった情報をお聞きしたことから、リモート例会のサポートに関する呼びかけをいたしました。次に、ガバナー補佐の皆様にご協力をいただきまして、クラブの例会開催状況をヒヤリングさせていただき、その結果を各クラブへフィードバックいたしました。次に、各クラブにおいて、情報の取集や困ったことを相談したくても地区の窓口がわからないといった声をお聞きしたことから、気軽に問い合わせができる「今さら聞けないロータリー（よろず相談掲示板）」を地区HPの委員会ページに掲載いたしました。今後は、よろず相談掲示板をご活用いただき、クラブの活性化に繋げていただければ幸いです。

当委員会の皆様とは、このコロナ禍で地区出向の楽しみでもある懇親会ができずとても残念でしたが、委員会活動に積極的にご参加いただき本当に感謝いたしております。



地区公共イメージ委員会

委員長 當間 安弘 (茅ヶ崎中央RC)

コロナ禍で始まりコロナ禍で終わった地区委員会活動でした。委員会も通常通りの形式で行えず、会議室でもスクール形式でした。ただ、昨年からの継続して行っていますFacebookライブ配信を継続したことで、原則リモートではなく、ライブ配信担当者の方は会議室での参加のハイブリッド形式となり、多少は親睦の時間も取れたのではないかと思います。

そのライブ配信は、久保田ガバナーからのアドバイスで、青少年奉仕に目を向け、財団学友・米山学友・ROTEX・ローターアクト・世界平和フェローにご出演をいただけたことは、すべてのロータリアンが接点を持てなかったかもしれない方との接点づくりができたと思っております。また、地区の事業でもリモートでの開催形式になる中で、米山奨学生の卒業式・同窓会、交換留学生の帰国報告会なども配信をさせていただきました。

配信したものはYouTubeでもご覧いただけます。まもなく過去配信の一覧も地区のホームページに掲載させていただきますので、ご視聴ください。

多くの委員が、ライブ配信の進行役・撮影役を務めていただき、素人集団ながら一所懸命取り組んでいただいたことに感謝を申し上げます。



地区会員増強・会員維持委員会

委員長 三澤 京子 (寒川RC)

昨年度後半は、コロナ禍で委員会としても身動きができずに、6月の退会者が多くなってしまった(2020年6月末地区会員数マイナス100名)。今年度もコロナ禍で始まり、委員会は2020年7月の初回だけが対面で開催できたが、それ以降は、毎月ハイブリッドかZOOMで行った。8月の増強月間には例会が休みのクラブも多く、また外部からの参加者を警戒してかクラブからの卓話依頼が少なかったため、委員会が各グループの会長幹事会に出席し直接会員増強・維持をお願いした。また、地区クラブ管理委員会と一緒に各ク



ラブにアンケートをお願いし、例会開催状況と会員増強状況を把握するように努めた。加えて、増強系地区セミナーが全く行えず、年度前の会員増強セミナー、11/28予定の会員維持セミナー、今年度は新会員の集い(12/5予定)も担当だったが、全て感染者が増える時期と重なり、素晴らしいロータリアンに講師をお願いしていたにもかかわらず実施は叶わなかった。

各クラブへ、各会員への動きが見えない1年間でしたが、委員会として各グループ内・各クラブ内の状況を把握しフォローをして参りましたので、この6月末での退会者が少ないことを祈っています。

地区奉仕プロジェクト委員会

委員長 石井 卓 (厚木県央RC)

今年度は、未曾有の新型コロナウイルス感染拡大により、予定されていた2020東京オリンピック・パラリンピックも一年延期を余儀なくされ、世界的にもパンデミックを引き起こしました。本来奉仕活動は「行動」を伴うものですが、「人の集まりが制限」される中、各クラブにおかれましては、医療機関関係への寄付(資金・各種物品)などを中心に活動されました。地区職業奉仕委員会ではコロナ禍の長期化を予想して「わかりやすい職業奉仕」のDVD作成を目指し、半年かけ多々委員会を開催し、激論を重ね完成いたしました。それを各クラブに配布し、卓話訪問の代わりにしました。それをご覧いただいたクラブからのアンケートも実施しました。地区社会奉仕委員会においては、例会を開くこともままならない中、各クラブより、コロナ禍においてどのように工夫して奉仕活動をされているかアンケート調査を実施しました。このような社会状況でこそ、ロータリアンとしての奉仕活動が必要との意識で、多くのクラブが何らかの形で活動された様子がわかり、今後の各クラブの参考になればと思います。地区国際委員会としては、かねてよりEnd・Polio・Nowの活動でお世話になっていたインドのクラブからの要請で、コロナ患者搬送車の調達の為に各クラブより寄付を募り、予想を上回る金額の募金が集まりました。

コロナ禍の非常事態宣言などで、行動が制限される社会状況の中、大変な1年でした。

職業奉仕委員会

委員長 秋山 純夫 (秦野RC)

コロナ禍により委員会のスタートは遅れに遅れ、開催も憚られたので色々な決断を迫られた一年でした。恒例の出張卓話ができないことを想定して、当初より卓話のDVD制作を目標に活動してまいりましたが、そのようになりになってしまい各クラブに伺えず大変残念でしたが、委員会メンバーの奮闘により大変素晴らしいものが完成したと自負しております。

また、次年度職業奉仕委員長に本年度前沢副委員長が就任しました。これは今年度の活動に対する評価の表れと大変嬉しく思っております。ご協力頂いた委員会メンバー及び、的確なアドバイスをくださったガバナーと奉仕プロジェクト委員会各位に心より御礼申し上げます。

最後に下記のYouTube URLで動画を視聴できますので、まだご覧になっていない方はぜひどうぞ。

https://rid2780.gr.jp/rotarians/committee_introductions/vocational_service/index.html

社会奉仕委員会

委員長 守屋 又市 (相模原RC)

1. 本年度委員会活動状況について

本年度は久保田ガバナーより「1クラブ1奉仕プロジェクト」をテーマのもと、より良い奉仕活動を検討しておりましたが、コロナ禍の影響で委員会活動はもとより、各クラブの例会まで休止を余儀なくされ、活動が制限される状況が現在も続いております。

このような状況下、上期は全66クラブに「コロナ禍における奉仕活動」についてアンケートを募り、その結果多くのクラブが地域へのコロナ対策に貢献されており、ロータリークラブとして奉仕が実践されていることが確認されました。その結果については、内容を取りまとめ、地区内各クラブにフィードバックいたしました。

下半期は地区委員会活動や各クラブの例会開催がままならない中、社会・国際奉仕活動についての卓話を募った結果、6クラブより依頼があり、例会が実施されたクラブには、委員手分けして、委員会で作成したパワポを資料に卓話を行いました。ただし

一年を振り返って

コロナ禍という状況もあり、例会を休止しているクラブも多く、卓話を依頼してきたクラブ数は例年に比べ少ないように感じました。

2. 委員会運営についての反省

本年度の委員会活動については、上期はアンケートの方法等について3度委員会を開催しましたが、コロナ禍の影響で出席率もよくなく、活発な委員会活動はできませんでした。今年はコロナ禍という特殊な状況下ではありますが、やはり委員の方の積極的な参加がないと、委員会活動がひとりよがりになり、地区の委員会活動が可視化されないのが、委員に就任された方は積極的に委員会活動に参加していただきたかった。ともあれ、コロナ禍の状況では思っていた活動がほとんどできませんでした。

国際奉仕委員会

委員長 小巻 慎吾 (秦野中RC)

国際奉仕委員会委員長として久保田ガバナーより命を受けて、当初は各クラブさんに国際奉仕活動にチャレンジしてもらい、そのお手伝いとサポートをしていくと方針を立てたものの、コロナウイルスの蔓延でほとんど全てのプロジェクトが中止となり、活躍の場が無くなってしまいました。インドのクラブからの援助要請を受け、皆様からの多大な寄付のお陰で、グローバル補助金プロジェクトとして国際支援活動ができたことが、唯一の委員会活動となりました。あらためて、ロータリアンの奉仕に対する熱意と結束の強さに感銘いたしました。皆様、一年間本当にありがとうございました。国際奉仕活動の扉は、開くことが難しい扉ばかりではありません。国際大会に参加することでも立派な国際奉仕活動になります。是非一人でも多くのロータリアンが国際奉仕の扉を開くことを祈念いたします。



アルの整備・対面での集会が許された際に関する準備、等を中心とした各委員会活動となりました。

IA・RA委員会では、IA年次大会・IA海外研修(台北)・一泊研修と主だった事業は中止となり、毎月のzoom環境によるアクターズミーティングも、ネット環境の利用という観点から、先ず未成年者であるインターアクターの保護者からの同意書を頂くことから始めることとなりました。IA年次大会の代わりに『拡大アクターズミーティング』を12月にzoomで行い、各インターアクトクラブ(IAC)の活動発表の場とする計画等ありましたが、COVID-19収まらず非常事態宣言となり、11月には今後の予定を見直し、異例ですが『IAC年間活動報告書』として今年度の活動をまとめることとなりました(現在編集中)。そして、インターアクト学友会・ローターアクト・関係各位の協力により、12月に『アクミ動画アワード』(インターアクターからの様々なテーマによる動画を募集してzoomウェビナーにて配信、優秀な作品に賞を授与する)。1月に『新春特別卓話2本』①財団学友会：石塚愛さん「今のわたしを形づくるもの～2度の留学で叶えた夢・追いかける夢」②逗子RC：畠中一郎さん「ペイフォワード」をzoomにてライブ配信。1月31日には『ローターアクト地区大会』をフルリモートにて実施。2月には『学友会の時間』、3月には『三年生を送る会』を同じくフルリモートにて実施いたしました。6月12日までに11回の委員会(対面×2・ハイブリッド×5・フルリモート×4)となりましたが、IA・IA学友会・RA・地区委員会のメンバーと共に、コロナ時代の真っ只中で行った活動を、いつか第12回の特別委員会を開催して振り返ってみたいと考えています。

青少年交換委員会

委員長 棕梨 兼彰 (藤沢RC)

前年度、今年度と2年間青少年交換委員長として活動させていただきました。就任して半年後、中国から新型コロナウイルスが発見されて瞬間に世界中で感染拡大が起きました。これにより2780地区では早期に全ての来日・派遣学生に働きかけて無事に全員帰国させることができ



地区青少年奉仕委員会/インター・ローターアクト委員会

委員長 大野 宏一 (逗子RC)

青少年奉仕活動で一番大事なことは、参加青少年少女の安全であります。COVID-19の影響により、集会の制限が見込まれていた今年度当初の状況から考慮して、リモート環境を利用したオンライン会議・各種マニ



ました。それ以降は安心・安全な交換プログラムができなくなり、遂にはR Iより次年度終了時まで青少年交換プログラム中止の通達があったのは最近の事です。派遣候補生の皆様も2年越しに準備をしていただいたのですが完全に中止となり本当に残念な事になってしまいました。委員会やROTEX活動も殆どできなくなりましたが、今までの青少年交換プログラムマニュアルの見直しをメインの活動とする事と数年に及ぶ活動休止により各クラブや学校関係者他の皆様に今まで築いてきた関係が途切れないように各担当委員が連絡を取り、少しでも次に繋がる活動をしてまいりました。2022~23年度からスタートできるかどうかはまだわからない状態ではありますが次年度委員会の皆様にバトンタッチして今までのプログラムのように活動を再開してほしいと思っております。この2年間、貴重な体験をさせて頂いたと共に皆様のご協力に感謝致しております。ありがとうございました。

RYLA委員会

委員長 清水 寿人 (相模原柴胡RC)

何もしない一年が終わろうとしています。今年の5月予定者の段階で久保田ガバナーから英断が下され今年度のRYLA事業の中止が早々に下されました。それでは、委員会として出来る事はと考えるに至ったときの模索研究を行なおうことに委員会メンバーの相違で進む事となりました。しかし現実には緊急事態宣言やまん延防止等重点措置によって思うような委員会が開催できませんでした。委員会開催をZOOM形式やハイブリット会議の推奨もありましたが、アナログ世代の私にはどうしても受け入れられず委員会メンバーの皆さんには大変ガッカリな思いをさせてしまった事をお詫び申し上げたいと思います。そして次年度以降、何時か開催されるであろうRYLA事業の成功を願い振り返りとさせていただきます。1年間ありがとうございました。



地区R財団委員会

委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

『素晴らしきかな俺たちのロータリー財団』

COVID-19の強烈な影響を受けた一年でしたが、クラブや地区委員会の奉仕に対する熱い思いが伝わってまいりました。クラブ例会や会合の不自由な中でもクラブの奉仕活動が継続されていることは素晴らしいことです。地区委員会はクラブの奉仕活動を支えるために時間と労力を惜しみませんでした。再三の追加募集やZOOMハイブリッドという会議にもご協力をいただいたところであります。



財団奨学金事業も世界中が混乱している最中ですが、一人一人の学生に向き合いながら本当に丁寧かつ適切に指導していただき、青春時代の大きな機会が生かされるよう、愛情をもって事に当たっていただいております。奨学生の希望通りに進行中であることは嬉しい限りであります。

クラブ会員からの年次寄付は前年実績には達していませんが、予想以上に減少幅は小さく、年次寄付ゼロクラブゼロの目標も達成できており心より感謝申し上げます。

ロータリーを私なりに突き詰めて考えると、「奉仕・友情・研鑽」が鼎であり、自己と他者と社会が常に向上を目指して回転して行くスパイラル向上運動であると実感しているところです。そしてクラブの力を結集してロータリーらしい奉仕活動を推進しようとしているのがロータリー財団です。ロータリー財団がクラブの奉仕を支配しているではありません。俺たちのロータリー財団をこれからもよろしくお願い致します。

クラブの皆様、地区ロータリー財団委員会の皆様に心より敬意と感謝を申し上げ、締めくくりとさせていただきます。本当にお世話になり有難うございました。

財団補助金委員会

委員長 三宅 譲 (逗子RC)

2020年6月2日火曜日日本時間7:00に、突然メールを頂きました。差出人は補助金担当部ディレクターのアビーマクニャさんからでした。内容は「グローバル補助金に関する重要な変更について」でした。「グローバ



一年を振り返って

ル補助金はプログラムは、2013年の開始以来、大きな成果を収め、成長を続けています。この成長は素晴らしいものである一方、WF（国際財団活動資金）のキャパシティを超えるほど大幅にグローバル補助金への需要が高まることを意味しています。

この理由により、財団管理委員会は、WFを地区財団活動資金(DDF)への上乗せにのみ使用することを決定しました。この上乗せは、引き続き同額(1対1の上乗せ)となります。

補助金への現金拠出への上乗せは、2020年7月1日に廃止されました。

まだまだ続くコロナウイルスへの対応は予断を許さない状況にあります。

御身大切になさって下さい。

補助金配分・VTT委員会

委員長 中村 眞英 (伊勢原平成RC)

【いつもと違う地区補助金】

今年度は新型コロナウイルスにより多くのクラブで地区補助金取下げがありました。そこで実施予定を取下げたクラブを優先に追加募集を行い4プロジェクトが通りました。今までにないルールでしたが財団委員会が対応して申請募集をしたロータリーの対応力の素晴らしさを感じました。



2021~22年度実施プロジェクトの申請は少なく6クラブだけが通り、近年では最も少なかったです。例年では20クラブ以上の申請があるのですが、コロナ禍で相当各クラブの皆様は悩まれたと思います。そこで金額は少ないですが追加募集を計画しています。

【説明会・審査会】

配分・VTT委員会は6名(通常10名程)でした。説明会や審査会そして委員会などの準備、開催方法が最も大変でした。久保田ガバナーのアドバイスをもとに準備をしていき、ガバナー事務所、補助金管理委員会や他の委員会の協力で何とか開催出来たと思います。

【感謝】

この一年多くの皆様からご意見、ご相談をお寄せいただき補助金に関心を深めて頂いた事を嬉しく思っています。補助金を活用して地域に価値ある奉仕をしていただき、クラブ活性化に繋げて頂ければと思います。

長い一年間でした。ありがとうございました。

財団資金推進委員会

委員長 田後 隆二 (相模原中RC)

『コロナ禍の中、最大限のご寄付をいただき、ありがとうございました。』

年次基金寄付1人200ドル以上、ポリオプラス寄付1人40ドル以上、恒久基金寄付1クラブ1,000ドル以上という当地区数値目標は、例年通り会員の皆様に十分ご認識いただいていたことと思います。



しかし、このコロナ禍において、ご自身の事業経営が厳しい状況にあり、ロータリー活動もままならず、「寄付どころではない」というお声をいただくことも少なくありませんでした。そのような社会・経済情勢を反映し、年次基金寄付の総額が例年に比して低調であったことは否めません。それでも会員の皆様には、それぞれのご事情に応じた最大限のご寄付をいただいたことに、心より感謝申し上げます。

一方、久保田ガバナー、田中地区財団委員長はじめ、関係各位のご尽力により、ゼロクラブゼロ(年次基金寄付総額ゼロのクラブがなかったこと)を今年度も引き続き達成できたことは、うれしい限りです。

当委員会の役割は、寄付金集めだけでなく、大口寄付やロータリーカードの推進、財団功労賞などの候補者推薦等々多岐にわたります。今年度の経験・実績を踏まえ、次年度も抜けが生じないよう、しっかり引き継ぎたいと思います。

補助金管理委員会

委員長 永松 秀行 (藤沢南RC)

今年度皆様大変お世話になりました。今年度は非常にコロナによってイレギュラーな年度になりました。集まっのの小委員会も自由に開催できず各委員のチェックを委員長、副委員長で再チェックして委員会を進めてきているような状況でございました。



最終では皆で集まり最後とチェックを終了し今年度も無事に終了することができ、田中財団委員長は

じめ委員会メンバー並びに小委員会のメンバーには感謝しかありません。

財団委員会としては、きちんと集まり二元ハイブリット方式での委員会の開催の担当委員会として勉強をさせていただきました。

心残りとしては去年の申請事業がたまたま海外の事業形態が多くそれが中止になったこと。それに伴い早めの結論をいただくために申請クラブに対してすごく細かいアンケート等を取り早期の決断をいただかないといけない役目をやったことが大変辛い思いでございました。

ぜひ海外事業もまた自由にできる世の中に戻って欲しいなと感じております。

その代わりに財団の補助金を使った寄付事業等普段味わえない事業と接することができた事は大変勉強になり今後の糧にしていきたいと思っております。

平和フェロー・奨学金委員会

委員長 中山富貴子 (茅ヶ崎RC)

新型コロナウイルスの感染拡大により今年度委員会活動にも大きな影響がございました。

『ロータリー平和フェローシップ』はICUにある平和センターを中心としたホストエリア連絡協議会に参加して平和フェロー



プログラムの支援をしています。今年度は2名の18期生が修了しますが、コロナ禍により日本文化交流会などの特別行事が全て中止となりました。2年間の留学期間もオンライン授業となりました。RC例会なども自粛の為、卓話訪問も出来ない状況が続きましたことがとても残念です。19期生・20期生は次年度8月～9月に来日が漸く出来る予定との現状です。

『ロータリー奨学生』は「世界理解・親善・平和推進」を掲げるロータリー財団の教育プログラムです。今年度グローバル補助金奨学生合格者は3名。山下エレナさんはパリへ、小林拓海さんはイギリスへ、喬博軒さんはアメリカへそれぞれ留学予定です。またコロナ禍により延期されていた前年度合格者2名、鎌田舞子さんはイギリスへ、地区補助金奨学生藤原和奏さんもロシアへ留学予定です。帰国報告会などクラブロータリアンの参加頂ける行事をコロナ

禍の為オンラインで行いましたが60名が出席されました。この教育プログラムへの関心を少し頂けたのではと感じました。1年間素晴らしい委員会メンバーに支えられましたこと感謝申し上げます。今後ともこのプログラムへのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

地区米山奨学・米山学友委員会

委員長 常盤 卓嗣 (平塚RC)

ロータリー各種事業の中で、最も意義有る米山の事業は各クラブのご理解のもと確実に成果を上げています。本年も多くの学生をお預かりして色々な交流事業や奉仕事業を考えてまいりましたが、1年半に渡るコロナ禍の中で1年間の事業は方向転換を余儀なくされました。



しかしながら、カウンセラークラブの皆様、そして委員会のメンバーの努力で無事に事業を完了する事ができました。カウンセラー研修会や米山月間の卓話派遣を含むクラブ向けの事業、そして本来なら米山梅吉記念館の見学等を含む研修・文化事業も形を変えて開催しました。

学校もリモート授業となり、中々顔を合わすことが出来ない事から、少し無理した事業は学生たちの笑顔でいっぱいでした。時代が変わり色々変えてゆかなければならない事も多いと言われますが、1年間を振り返ってみて感じたことは、やはり米山の意義を伝えるためには、会う機会が必要だという事でした。

さらに本年は、第1回目となる米山学友会の同窓会を開催する事が出来ました。第2780地区には約700名の米山卒業生がいますが、今までに一度も彼らの連絡先の整理等が出来ていない事に気付きました。今年がスタートとして是非米山の輪を確実に広めてゆくためにも次年度の開催も望むところです。

1年間私たちの委員会は、委員会の主役は学生であり、私たちは良きサポート役であるという事で活動してきました中、行動を共にしてくれた委員会メンバーに感謝して報告といたします。

米山奨学生

第一回米山学友同窓会を開催して

地区米山奨学・米山学友委員会

委員長 常盤卓嗣

(平塚RC)



第2780地区（神奈川）では去る5月23日（日）、平塚市の駅ビル「ラスカホール」に於いて、十分なコロナ感染防止対策のもと米山奨学生・米山学友合同で当地区初となる同窓会を開催いたしました。

会場には、久保田ガバナーはじめロータリーメンバー及び、各クラブのカウンセラー、学友会会員並びに現役奨学生、そして会場に駆けつけられなかったオンライン参加者など総勢150名余りが一同に会しました。そして第4代よねやま親善大使であるカレン・ジュリア・ウォーターズさんを講師に迎えご講演頂き会がスタートいたしました。

カレンさんは奨学生当時の「奨学金が入った茶封筒」を30年経過した今でも宝物のように大切に保管されているそうです。日本の素晴らしさを海外に発信する熱い思いが充分に伝わるご講演でした。その後は、オンライン参加2グループと会場参加3グループに分かれ一時間ほど自己紹介を含めたディスカッションを開催、すっかり緊張がほぐれ、打ち解けた様子を微笑ましくも感じました。本来であれば奨学生は世話クラブを通じ、この一年で様々な交流の機会が得られ、多様性を重んじ、貴重な体験ができたであろうと思います。また米山学友としては、卒業生の立場から親元を離れた奨学生が安心安全に過ごせるよう万全な支援をされたはずでした。思わぬコロナ

禍での生活を余儀なくされ、地区米山委員会としても「学生同士の交流がないまま終わらせてもよいのか？」又「学友となって連絡が取れなくなってしまい、せっかくのご縁が切れてしまっている」という現状から形式はどうであれ地区初の「同窓会」を実現してみよう、みんなの足跡を残そうという理由が開催のきっかけでした。

会の終了後は、SNSで連絡先の交換をしている場面を多く見かけました。地球の反対側でも、非対面のコミュニケーションが手軽にできるわけで、参加した学生・学友からは「本当に楽しかった」「良い経験になった」という言葉を頂き感謝しますとの事でした。今回をきっかけに交流が深まる期待が持てそうです。

米山委員長としての二年間で気付いた事があります。それは、第2780地区で700名以上の米山奨学生を輩出して参りましたが、いざ同窓会となると連絡が取れない卒業生が多数であったこと、相当な年月が経過し、まして優秀な卒業生は日本のみならず世界各国に渡り活躍をされている方々も多く、その多くは準備段階から連絡先がわからず名簿作成から始めました。過去の世話クラブや同窓生など、遡っての確認作業は一苦勞でした。次年度以降、継続事業として奨学生、学友とのネットワーク拡大に繋がれば幸いです。



米山功労者一覧

(2020年7月1日～2021年6月30日)

第1グループ

Table listing members of Group 1, including categories like 米山功労者, マルチプル, and メジャードナー with names and their respective Rotary years.

第2グループ

Table listing members of Group 2, including categories like 米山功労者, マルチプル, and メジャードナー with names and their respective Rotary years.

第3グループ

Table listing members of Group 3, including categories like 米山功労者 and マルチプル with names and their respective Rotary years.

Table listing members of Group 4, including categories like 米山功労者 and マルチプル with names and their respective Rotary years.

第4グループ

Table listing members of Group 4, including categories like 米山功労者, マルチプル, and メジャードナー with names and their respective Rotary years.

第5グループ

Table listing members of Group 5, including categories like 米山功労者 and マルチプル with names and their respective Rotary years.

第6グループ

Table listing members of Group 6, including categories like 米山功労者, マルチプル, and メジャードナー with names and their respective Rotary years.

第6グループ

Table listing members of Group 6, including categories like 米山功労者, マルチプル, and メジャードナー with names and their respective Rotary years.

第7グループ

Table listing members of Group 7, including categories like 米山功労者, マルチプル, and メジャードナー with names and their respective Rotary years.

第8グループ

Table listing members of Group 8, including categories like 米山功労者 and マルチプル with names and their respective Rotary years.

第9グループ

Table listing members of Group 9, including categories like マルチプル, 米山功労者, and メジャードナー with names and their respective Rotary years.

功労クラブ

Table listing members of the Merit Club with names and their respective Rotary years.

インド緊急支援プロジェクトの報告

(COVID-19感染患者搬送用車両)



2020～21年度ガバナー 久保田 英男
(鎌倉RC)

昨年9月、当地区全クラブに対し緊急をお願いを致しました「インド緊急支援（COVID-19感染患者搬送用車両）プロジェクト」では、コロナ禍にありながら皆様より短い期間に約170万円もの寄附を集めて頂き心より感謝申し上げます。

この度、インド・デリー南西RCより車両の運用開始のご報告とその贈呈式などの写真をお送り頂きましたので、皆様にも誌上ではございますが、ご披露申し上げます。プロジェクト開始時点でもインドにおいてはかなり厳しい環境にあったようですが、その後、COVID-19変異

型（デルタ株）の発生でさらに大きな被害に見舞われたデリーにおいて、この車両も活躍してくれるのではないかと考えています。

皆様の貴重なお気持ちが、こうして遙か海の向こうで活用されています。お互いに苦しい時だからこそ理解も深まり絆も強くなるのでしょう。ロータリーの友情の輪に改めて感動しています。

最後になりますが、素早く対応して下さった地区国際奉仕委員会と地区全クラブの皆様にご心より感謝を申し上げます。ご報告とさせていただきます。



公式訪問の記録

日程	訪問先	備考	日程	訪問先	備考
2020年			9月24日	藤沢北西RC	
7月20日	小田原RC		9月28日	海老名RC	
7月21日	小田原城北RC			寒川RC	夜間(リモート)
7月22日	二宮RC		9月29日	厚木RC	
7月27日	横須賀南西RC		9月30日	厚木中RC	
	ふじさわ湘南RC	夜間	10月1日	大和中RC	
7月28日	伊勢原平成RC	リモート	10月2日	大和田園RC	
7月29日	小田原北RC		10月3日	アーカス湘南RC	
7月30日	小田原中RC		10月5日	相模原かめりあRC	夜間
7月31日	湯河原RC		10月6日	平塚北RC	
8月4日	藤沢東RC		10月7日	座間RC	
8月6日	藤沢西RC			茅ヶ崎湘南RC	夜間
8月7日	秦野中RC		10月8日	海老名樺RC	
8月17日	藤沢南RC		10月9日	厚木県央RC	
8月18日	箱根RC		10月13日	茅ヶ崎中央RC	夜間
8月19日	相模原西RC		10月15日	逗子RC	夜間
8月20日	秦野名水RC		10月20日	相模原南RC	
	相模原ニューシティRC	夜間	10月22日	鎌倉大船RC	
8月21日	足柄RC		10月23日	平塚湘南RC	
8月24日	相模原柴胡RC	夜間	10月28日	平塚西RC	
8月25日	横須賀北RC		10月29日	津久井中央RC	
8月27日	三浦RC		11月5日	本厚木RC	夜間
8月28日	平塚南RC		11月6日	藤沢北RC	
8月31日	相模原東RC		11月9日	伊勢原中央RC	リモート
9月1日	大和RC		11月10日	相模原中RC	
9月3日	横須賀西RC		11月12日	平塚RC	
9月8日	綾瀬RC		11月13日	横須賀RC	
9月9日	藤沢RC		11月16日	鎌倉中央RC	夜間
9月10日	茅ヶ崎RC		11月19日	大磯RC	
9月15日	秦野RC		11月21日	かながわ湘南RC	
9月16日	綾瀬春日RC		12月1日	鎌倉RC	
9月17日	相模原RC		2021年		
	相模原橋本RC	夜間			
9月18日	相模原グリーンRC		4月17日	イノベーションゲートウェイ湘南RC	リモート
9月23日	伊勢原RC				
	葉山RC	夜間			

新規発足の相模原西令和大野ロータリー衛星クラブと各ローターアクトクラブを訪問できなかったのは残念でなりません。またの機会に訪問を実現したいと思っています。

コロナ禍において、様々な形式で公式訪問を受け入れて下さった各クラブに感謝申し上げます。

イノベーションゲートウェイ湘南



加藤 一
会長/不動産業



久野 孝稔
幹事/医薬



石井 千恵
病院及び施設



水落 雄一不
動産業



甘粕 和彦
官公庁



石井 秀雄
不動産業



田辺 穰知
建設業



相原 厚志
建設業



国松 誠
官公庁



真山 正三
宗教



池田 清
教育



曾我 寿裕
医薬



土屋 元人
有資格職業



大橋 久高
病院及び施設



田淵 勇太
保険



谷口 一彦
建設業



福原 高洋
不動産業



石井 幸佑
有資格職業



松本 剛弥
技術



堀米 剛
コンサルタント、デザイナー



中村 光
機械及び装置



仲野 浩章
有資格職業



中村 航
通信事業



海野 章
教育



大坪 律己
情報、調査サービス



加藤 欣吾
金属工業



原 悠樹
ビジネスサービス



木村 吉貴
宣伝



ロータリーは機会の扉を開く

相模原西令和大野ロータリー衛星クラブ

座 間 勇 (酒類販売)

松 本 素 彦 (弁護士)

角 尾 彰 央 (老人ホーム)

若 田 摩衣子 (司法書士)

吉 田 良 記 (土建業)

小野瀬 千 里 (宝石加工販売)

角 尾 政 美 (介護職)

木 村 早緒理 (理学療法士)

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー

 <p>うすい きいち 白井 希一 ①平塚北 ②2020. 07. 07 ③造園土木 ④真壁佐一</p>	 <p>かとう いきむ 加藤 勇 ①平塚北 ②2020. 07. 07 ③電気機械器具製造 ④梅原謙司</p>	 <p>ながもり ただひと 永森 忠仁 ①平塚北 ②2020. 07. 21 ③金融業 ④真壁佐一</p>	 <p>はせがわひでお 長谷川英男 ①平塚北 ②2021. 03. 30 ③総合建築 ④比企 武</p>
 <p>ふじおか くにかず 藤岡 邦計 ①平塚北 ②2021. 03. 30 ③総合建築 ④神保由樹</p>	 <p>すどう ゆうじ 須藤 雄司 ①海老名 ②2021. 04. 19 ③産業廃棄物処理業 ④笹尾茂樹</p>	 <p>なかむら ゆたか 中村 豊 ①平塚北 ②2021. 04. 20 ③整形外科 ④真壁佐一</p>	 <p>かきご ともかず 笠小 友和 ①三浦 ②2021. 05. 01 ③総合建設業 ④加藤隆史</p>
 <p>くにとし ようこ 國年 洋子 ①平塚北 ②2021. 05. 18 ③飲食業 ④新倉裕明</p>	 <p>えじり たけし 江尻 猛 ①相模原南 ②2021. 05. 25 ③保険 ④一ノ瀬裕、 鈴木昌彦</p>	 <p>のなか のぶひろ 野中 信広 ①藤沢 ②2021. 06. 02 ③証券業 ④田中正明</p>	 <p>ふくはら みちか 福原美千加 ①秦野名水 ②2021. 06. 10 ③獣医 ④神崎達朗、 大屋富茂</p>
 <p>おの たけお 大野 健男 ①横須賀 ②2021. 06. 11 ③福祉事業 ④平松廣司</p>	 <p>おかだ けいた 岡田 圭太 ①横須賀 ②2021. 06. 11 ③建設業 ④大野忠之</p>	 <p>しばた たけやす 柴田 丈靖 ①横須賀 ②2021. 06. 11 ③保険業 ④岡田英城</p>	 <p>やさき たけひと 矢崎 岳人 ①鎌倉 ②2021. 06. 15 ③生花販売 ④長谷川貴哉</p>
 <p>みうら としお 三浦 寿夫 ①横須賀 ②2021. 06. 18 ③保険業 ④飯塚進一郎</p>	 <p>ふるしま まる 古島 守 ①鎌倉 ②2021. 06. 22 ③公認会計士 ④宮本英光</p>	 <p>すどう りゅういち 須藤 龍一 ①横須賀 ②2021. 06. 25 ③地方銀行 ④上林 茂</p>	 <p>やまだ てつや 山田 哲也 ①横須賀 ②2021. 06. 25 ③精密機械製造 ④岡田英城、 鈴木孝博</p>

訃報 ご冥福をお祈り致します



きたむら ひさろう
北村 久朗 (秦 野)

2020年6月13日逝去 (享年83歳)

1979年2月6日 入会
2009~10年度 クラブ会長
ベネファクター/米山功労者
マルチプルポールハリスフェロー



さえき しゅうこう
佐伯 崇興 (伊勢原)

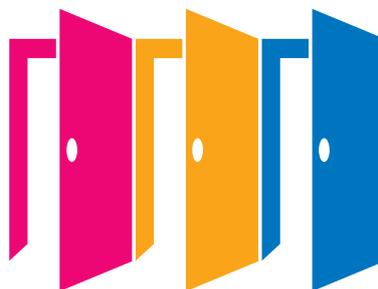
2021年6月16日逝去 (享年88歳)

1969年7月30日 入会
1982~83年度 クラブ会長
米山功労者/ポール・ハリス・フェロー
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2020~2021 Governor
Hideo Kubota

■OFFICE/Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021年度ガバナー
久保田 英男

■事務所/〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855 Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp